

いつまでも健やかに・・・

——私たちの願いです。

発行 平成30年1月25日

広報誌 第47号

医療法人玉昌会 加治木温泉病院

すこやかか加温



今年もよろしくお願い申し上げます



目次

巻頭言 消化器内科科長 濱田浩志	2
お知らせ 皮膚科開設 超電導型MRI導入	3
研究発表会を開催	4
学会報告	
第25回日本慢性期医療学会	
第6回全国医療経営士実践研究大会・広島大会	5
トピックス	
勤怠管理システムが稼働開始	
ボランティアで救命処置の普及に尽力	6
入院患者さまの光熱費の負担が変わりました	7
インフルエンザの予防と治療	8～9
自分を知る手がかり	10
個人情報保護方針 etc	11
氷山の一角・編集後記	12

医療法人 玉昌会 行動指針

低 賞 感 微

低：全てに謙虚な気持ちで接する
賞：お互いを思いやり敬意を払う
感：全てに感謝する
微：微笑みを添えて態度で示す

巻頭言



消化器内科科長 濱田浩志

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は多くの皆様方に厚いご支援いただき誠にありがとうございました。

さて、昨年はどのような1年だったでしょうか。
米国においてドナルド・トランプ大統領が米国大統領となりその発言や行動は世界中に大きな混乱をもたらしました。又、北朝鮮による核実験やミサイル発射はわが国にも多大な大きな影響を及ぼしております。
国内においては森友・加計問題、大企業の不正問題などいろいろな不祥事問題や衆議院選での自民党大勝、民進党の分裂等みられ慌ただしい1年でありました。
日本を含め国際情勢は緊張感が高まった1年となりました。

今年の干支は戊戌「つちのえ・いぬ」となります。この年は変革の年と言われております。良いものはより良くなる一方、悪いものはさらに悪くなるといわれており一年を通じて気を付けていきたいものです。

医療の分野におきましては大きな変革の年になりそうです。今年は診療報酬・介護報酬の同時改定、新たな介護医療院の創設も予定されています。又、少子高齢化の問題、特に団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となる2025年問題はますます重大な問題となってきています。それに加えて認知症患者の増加も大きな問題となっております。

現在、軽症なものを含めると少なくとも500万人以上と推定されている認知症患者数は2025年には700万人以上になっているというデータがあります。ただし、これは控えめに見た数字と言われており実数はもっと多いと予測されています。

国や地方公共団体、医療機関、製薬メーカーなどがその対応に必死に取り組んでいるところです。当院においても認知症外来を開設しその一助になれるように取り組んでいます。

今年以降の大きな話題としては2019年4月30日に天皇陛下の退位が決定し、又2020年には東京オリンピックも開催されます。昭和から平成となりまた新たな時代の幕開けを予感させます。

ところで、書家であり詩人でもある相田みつをさんの書に「あのね、正月の正という字は一にとどまると(止)と書くんだよ」とあります。一とは原点、要するに自分のこと。自分が自分に止まる。つまり、自分が自分になる。私は落ち着いて自分を見つめ直す時と解釈しました。

変革の年といわれる2018年ですが時には心に冷静さをもち自分自身をみつめ見直す時間を持ちたいものです。

今年1年、皆様が健やかに過ごせますように祈念して年初のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

加治木温泉病院 理念 基本方針

《理念》

行動指針「低賞感微」に沿った医療及び介護サービスを提供します。

《基本方針》

1. 患者さまの尊厳と権利を尊重した医療・介護を目指します
2. 患者さまの視点に立ち、良質で安心・安全な医療・介護の提供に努めます
3. 地域包括ケアシステムの構築に寄与し、地域のニーズに沿った医療を担い、入院から在宅までの一貫した医療・介護の提供を目指します
4. 病院および在宅サービス事業部の健全な運営を行い、安心して働きがいのある職場づくりに取り組みます
5. 健診や保健指導により地域住民の健康管理や病気および介護予防に取り組みます

お知らせ

1月4日(木)より

皮膚科 外来を開設しました

小畠道夫医師(前おばた泌尿器・ひふ科院長)が、毎週水曜・木曜に泌尿器科外来・皮膚科外来を担当します。よろしくお願い致します。



皮膚科	水・木	受付時間	8:30-11:30	13:30-17:00
		診療時間	9:00-12:00	14:00-17:30

超電導型MRI装置(1.5T MRI)

当院では、最新の超電導型MRI装置を導入しました。



高性能、高画質。安全、検査もらくらく。

■このMRI装置は磁場と電波で撮像する画像診断装置で、人体のあらゆる方向の断面の画像や血管の画像が得られます。

●高い磁場強度(1.5T(テスラ))により、短時間で高画質の撮影が可能です。

●通常は20～30分程度横になっているだけで苦痛も無く検査は終了します。X線は使用していないので被曝の心配はありません。

●広い開口部を採用、検査中の患者さんへの圧迫

感を軽減しています。

●最新技術により、様々な部位や疾患の検査において幅広い診断情報を提供できます。軟部組織や病変部とのコントラストを明瞭に描出できます。

また、造影剤を使わずに血管や胆管・尿管の撮影もできます。

▼MRI検査は下記のような病気の症状を判断できます。

脳梗塞、脳腫瘍、脳動脈瘤など、肝臓がん、膵臓(すいぞう)がん、卵巣がん、子宮筋腫、子宮内膜症、前立腺がん、椎間板ヘルニア、靱帯断裂など

※詳しくは、当院医師などへご相談ください。

研究発表会

医療法人玉昌会では、年間を通じて活動してきた研究事例や改善事例、導入事例などを発表する機会として、各種研究発表会例年開催しております。今回は12月に開催された2つの研究発表会での発表演題をご紹介します。

第5回始良地区在宅介護看護研究発表会

日時：2017年12月1日（金） 17:40～

会場：加治木温泉病院1階食堂談話室

①頻尿に悩む利用者様支援の一考察

しあわせ通りらぶ（デイサービス）：迫 美穂

②在宅医療に求められる糖尿病管理の在り方

訪問看護ステーションまむ：内野 智草

③家族の想いに寄り添った愛される施設を目指して

～接遇マナーの向上にむけて～

ケアレジデンス 木もれ日（グループホーム）：山下 その子

④認知症予防運動「コグニサイズ」～認知機能向上、低下予防と意欲向上を目指して～

ケアレジデンスおはな別館（住宅型有料老人ホーム）：羽生 緑



第6回コメディカル研究発表会

日時：2017年12月11日（月）17:40～

会場：加治木温泉病院1階食堂談話室

①通所リハビリ・訪問リハビリ利用者に対する装具定期メンテナンスの実施

総合リハビリテーションセンター：志水 章偏

②血液透析と間歇補充型血液透析濾過の処置回数比較検討

臨床工学室：吉原 香介

③高感度トロポニンⅠ検査の紹介

臨床検査室：上木原 良

④院内における医療クラークの取り組み

～医師事務作業補助体制加算を算定して～

医事課医療クラーク係：竹之内 靖子



学会報告

当院では、職員らが現場で培った研究や業務改善の成果をいろんな学会へ参加し、発表を行っています。多くの病院職員が参集するこのような学会では、他院の研究成果もリアルで体感することもでき、情報収集の場ともなっています。

第25回 日本慢性期医療学会

会期：2017年10月19日～10月20日

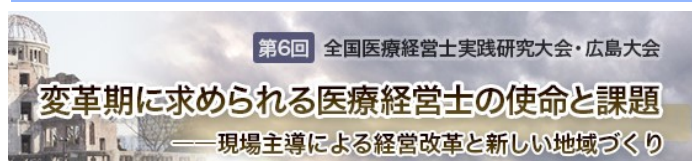
会場：仙台国際センター 会議棟



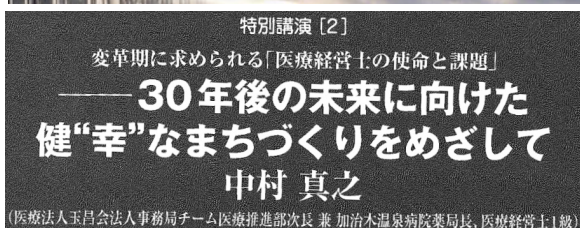
▼以下は当院から発表された演題の一覧です

開催日	演題名	演者
2017年10月19日(木)	認知症を理解し、介護の統一を図る ～「ひもときシート」を活用して認知症について考える～	ケアワーカー 米満 康浩
2017年10月19日(木)	iPadを活用した遠隔心エコー検査への取り組み ～外来透析患者の心機能評価～	放射線技士 川原 翔太
2017年10月19日(木)	冷温法(クーリング)に関する意識調査 ～パンフレット使用での勉強会を試みて～	看護師 福丸 佐知子
2017年10月19日(木)	音楽療法を用いた昼夜逆転のある認知症患者への取り組み	看護師 木村 利奈
2017年10月20日(金)	認知症患者へ対するレクリエーション療法 ～排泄間隔の延長をこころみて～	介護福祉士 中村 絵美
2017年10月20日(金)	便秘のアセスメントと排便サポート ～便秘治療薬・下剤に頼らない看護の関わりを通して～	看護師 五反 真梨乃
2017年10月20日(金)	患者のADL援助統一を目指した取り組み ～リハビリ経過表を作成して～	看護師 原口 久未子
2017年10月20日(金)	心と体の健康意識に関する実態調査	臨床心理士 鐘 恵那

第6回全国医療経営士実践研究大会・広島大会



会期：2017年11月18日～19日
会場：広島YMCA国際文化センター



当大会の「特別講演[2]」として、当院の中村薬局長が医療法人玉昌会の取り組みについて講演しました。玉昌会では、医療経営士の資格を持つ多くの職員が活躍しています。



◎なかむら まさゆき

1973年生まれ。1997年、明治薬科大学薬学部卒業。1999年、同大学大学院修士課程修了。1999年、医療法人玉昌会加治木温泉病院へ入職。2004年、同病院薬局長就任。2013年4月、玉昌会法人事務局内でチーム医療推進部発足に伴い次長を兼務。その他、始良地区薬剤師会理事、学校薬剤師として地域活動に取り組んでいる。医療経営士1級。

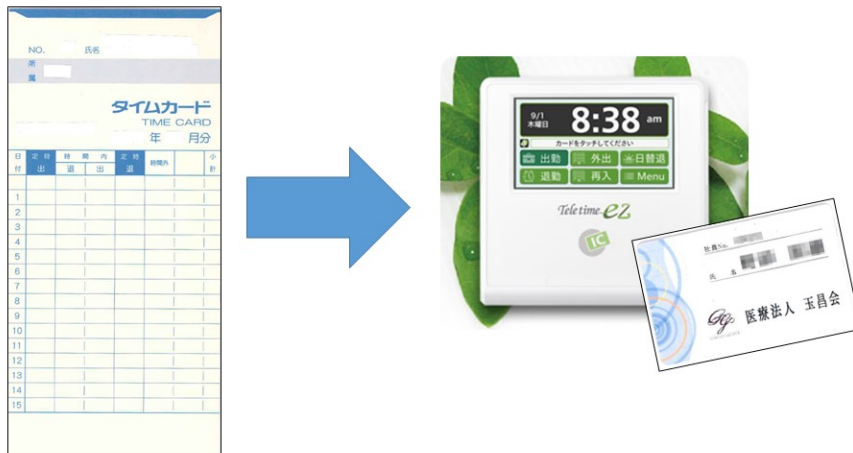
トピックス

勤怠管理システムが稼働開始

2018年1月より、勤怠管理システムを導入しました。

これまで使用していたタイムカードを廃止し、ICカードを使用してパソコン上のシステムで出勤、退勤、休日等の管理が行われます。当システムの導入により業務効率を図り、働き方改革の推進にも取り組んでまいります。

また、紙のタイムカードや給与明細書を使用しなくなることで、地球にやさしい環境・エコへの効果も期待されます。



ボランティアで救命処置の普及に尽力 ～始良市広報誌（AIRView12月号）に掲載～

始救あんしんサポート隊とは、応急手当普及員の資格を持った始良市民によるボランティアチームの事で、始良市内にある事業所や団体を対象とした普通救命講習の講師や、予防救急活動の普及、講習会のサポートなどを行っています。

玉昌会の応急手当普及員の資格を持った職員も始救あんしんサポート隊として活躍しています。

「始救あんしんサポート隊」誕生

▼玉昌会所属の始救あんしんサポート隊員

堤 京美（3階東西病棟）

松尾由弥（2階東病棟）

中水幸代（2階西病棟）

原口友子（総合リハセンター）

鈴木淑子（小規模多機能ホーム とまり木）

中尾純子（小規模多機能ホーム とまり木）

ボランティアで救命処置の普及に尽力



救命処置のできる市民を増やし、日本で一番救命率の高い街をめざすため、始救あんしんサポート隊が誕生しました。隊員のみなさんは、ボランティアで救命講習の指導や応急手当の普及活動などに参加し、市民の20%が救命講習受講者となることを目標としています。

平成29年10月から 国の方針により

医療療養病床（当院では2階南、2階東、3階西、3階南）に入院されている65歳以上の方の

光熱水費の負担が変わりました

地域医療連携センター

◆65歳以上の方が医療療養病床に入院したときは食費と居住費として定められた標準負担額を自己負担していますが、このうち居住費（光熱水費）について

平成29年10月と平成30年4月の2回に分けて変更されます。

◆この見直しは、介護保険施設（当院では3階東が該当します）に入所する方には、現在すでに1日370円の居住費をご負担いただいていることを踏まえたものです。

<これまで>

- ・2階南、2階東、3階西に入院されている方で
医療の必要性が低い方は320円/日
医療の必要性が高い方は 0円/日 のご負担でした。
- ・3階南、2階西入院中の方は負担0円/日でした。

<平成29年10月以降>

- ・2階南、2階東、3階西に入院されている方で
医療の必要性が低い方は370円/日
医療の必要性が高い方は200円/日 をご負担いただきます。
- ・3階南（回復期病棟）に入院されている方は
医療区分に関係なく200円/日 をご負担いただきます。

<平成30年4月以降>

- ・2階南、2階東、3階西に入院されている方で
医療の必要性が高い方も370円/日 をご負担いただきます。
- ・3階南（回復期病棟）に入院されている方は
医療区分に関係なく370円/日 をご負担いただきます。
- ・2階西：地域包括ケア病棟に入院されている方のご負担はありません。
- ・上記に関わらず、指定難病の方・老齢福祉年金受給者については、引き続きご負担はありません。

1日当たりの光熱水費

医療療養病床に入院している65歳以上の方	現在 (平成29年9月まで)	平成29年10月～ 平成30年3月	平成30年4月～
・医療の必要性の低い方（医療区分Ⅰの方）	320円	370円	370円
・医療の必要性の高い方（医療区分Ⅱ、Ⅲの方） (指定難病の方以外)	0円	200円	370円
・指定難病の方 ・老齢福祉年金受給者 ・境界層該当者	0円	0円	0円

(厚生労働省HPより引用)

インフルエンザの予防と治療

薬 局

インフルエンザは インフルエンザウィルスが原因で起こる気道感染症です。のどの痛みや鼻汁、咳などの風邪症状に併せて**38℃以上の高度な発熱、頭痛、筋肉痛、全身倦怠感**といった症状が急速に顕れるのが特徴で、お子様では急性脳症を、高齢者や免疫の低下している方では肺炎を伴う等、重症化する恐れもあります。



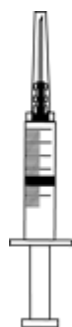
インフルエンザの予防

季節性インフルエンザには流行性があり、日本では**12～3月が流行シーズン**です。流行しているときは、下記のような対策を取りましょう。

- 人ごみを避ける。
- 外出時にはマスクをつける。
- 外出から帰ったらうがい、手洗い、洗顔を行う。
- 栄養バランスのよい食事を摂る。
- 疲れをためず、休養および十分な睡眠をとる。



流行前から予防する有効な手段として**流行前のワクチン接種**が推奨されています。



ワクチンについて

インフルエンザワクチンには、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合に重症化するのを防ぐ効果があると報告されています。

ワクチンを接種してからその効果が発現するまでに2週間ほどかかり、ワクチンの効果が持続する期間が5か月ほどという事から、**ワクチン接種は12月中旬までに済ませることが望ましい**とされています。

インフルエンザに罹った時は

- 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- 水分を十分に補給しましょう。お茶でもスープでも飲みたいもので結構です。
- 咳やくしゃみ等の症状のある時は、周りの方へうつさないように、**不織布製マスク**を着用しましょう。
- 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう。
- 具合が悪ければ、早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザの治療薬について

現在使用されている主な抗インフルエンザウイルス薬は、タミフル・リレンザ・イナビルの3種類です。それぞれ、以下のような特徴があります。

●タミフルの特徴



タミフル（一般名・オセルタミビル）は、先に挙げた三剤の中では唯一経口で内服するタイプのお薬になります。カプセルとドライシロップがあり、1回75mg（1カプセル）を**1日2回、5日間内服**が基本的な使い方になります。内服という簡単な投与経路であることから、どんな人でも使いやすいというのが最大の特徴です。逆に吐き気が強い、飲んでも戻してしまうといった恐れのある方には使い辛く、吸入薬である他の薬を用いる場合があります。また、小児に対する投与で異常行動が見られたという報告もあり、小児への使用の際は注意して見る必要があります。

●リレンザの特徴



リレンザ（一般名・ザナミビル）は、1回10mg（5mgブリスターを2ブリスター）を**1日2回、5日間専用の吸入器を用いて吸入**する吸入薬です。インフルエンザウイルスは気道粘膜で特に増殖する特徴があるため、吸入薬にすることで即効性が期待できるほか、全身性の副作用の軽減も図れる上、内服に問題がある方に適しており、最近では妊娠中の方や授乳中の方への安全性も確認されています。しかし、専用の吸入器を用いた吸入の不便さ、それを5日間続ける必要があるといった手間から、高齢者や小児には確実な投与が難しいといった不便な点もあります。

●イナビルの特徴



イナビル（一般名・ラニナミビル）は、リレンザと同様吸入薬ですが、その最大の特徴は**1回の吸入で治療が終わる**ことです。吸入した後、体内で作用を示す活性化体に変化し、その活性体が長期にわたって体内に貯留し薬効を示すのが、その理由です。確実に吸入する必要がある為、病院や薬局で医師、看護師、薬剤師の指導を受けながら吸入するのが安心です。

比較的新しいお薬なので妊婦さんの場合は医師と相談の上での使用を、また乳汁に移行する性質があるので、授乳中の方の場合イナビル服用後しばらくは授乳を控える必要があります。

抗インフルエンザウイルス薬が**最も効果を発揮するのは、インフルエンザの発症から48時間以内**とされています。早期の発見、治療が重要になりますので、家族、友人、職場の同僚がインフルエンザに罹ってしまったり、最初に挙げた38℃以上の高度な発熱、頭痛、筋肉痛、全身倦怠感といった症状を感じるようなことがあれば、**なるべく早く医療機関を受診**するようにしましょう。

加治木温泉病院 薬局

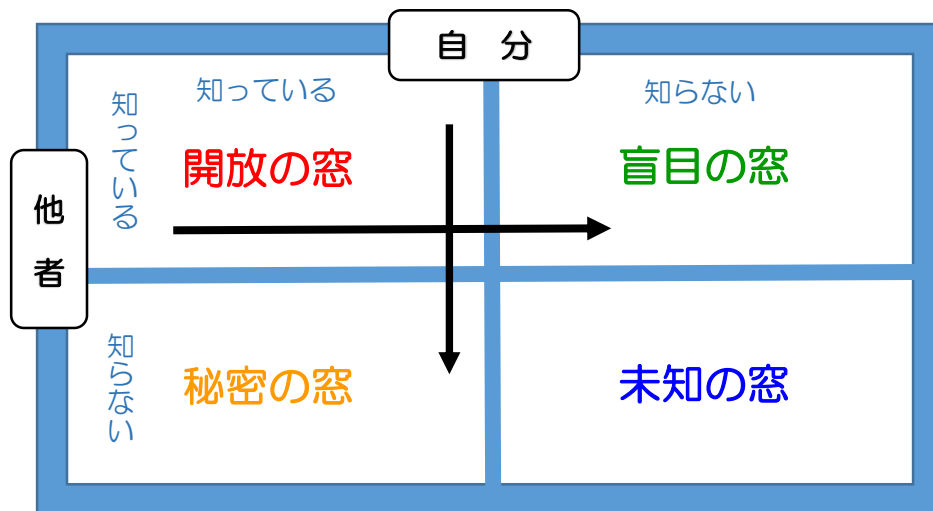
自分を知る手がかかり

心理相談室

みなさんは自分のことをどれだけ知っていますか？

自分を知るのは、実は難しいことです。アメリカの心理学者ジョセフ・ルフトとハリー・インガムは、私たちには4つの自分があると唱え、「**ジョハリの窓**」を考案しました。

かくれた自分を知るには、他者とのかかわりが大切です。**【秘密の窓】**を開示していけば、他者とのコミュニケーションが盛んになり、**【盲目の窓】**に気付くことができます。そうすれば、**【開放の窓】**は大きく、**【未知の窓】**は小さくなって、未知の自分がだんだん明らかになっていくと言われています。「**ジョハリの窓**」を活用してコミュニケーションを円滑にしてみましょう。



【開放の窓】 自分も他者も知っている部分

自分が考えている姿と、他者に見えている姿が一致している状態を示します。ここの領域が大きければ、誤解のない、円滑なコミュニケーションができるようになります。

【盲目の窓】 自分は知らないが、他者は知っている部分

「あの人、自分では気づいていないけれど〇〇だね」などと言われる部分です。

【秘密の窓】 自分だけが知っている部分

他者に隠している姿です。ここの領域が大きいと、他者とのコミュニケーションが不自然に成りがちです。

【未知の窓】 自分も他者も知らない部分

あなた自身も周囲の人も気付いていないあなたです。この部分があるから、人生は楽しいのです。無限の可能性を秘めています。

【開放の窓】を広げるには？

○ **【秘密の窓】**を狭めることです。これは**自分でできる行動**です。ありのままの自分であること。「こうしなければ」とか「他者の目が気になるから」とか、本来の自分がしたい姿を押し込めるような考え方を避けることです。

○ **【盲目の窓】**を狭めることです。これはどんなにがんばっても自分ひとりでは実現できません。なぜなら自分では気づかないことだからです。よって**他者からの協力が必要**です。友人、家族、同僚、「いろんなひとが知っている自分」を知ることが自己成長に大きく貢献してくれます。これは親しい人からのフィードバックが一番効果があります。

○個人情報保護方針

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の収集・利用・提供

個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集・利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講じます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報の確認・訂正・利用停止

当該本人（患者さま）等からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、別に定める内部規則により、調査の上、適切に対応します。

4. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

5. 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

6. 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。

7. 問い合わせ窓口

個人情報に関する問い合わせは、各部署責任者または以下の窓口をご利用ください。

個人情報保護相談窓口：地域医療連携センター

○診療情報の提供及び開示につきまして

当院では、患者さま・ご家族より診療情報の提供及びカルテ開示についてお申し出があった際は速やかに対応させていただくシステムになっておりますが、必要な条件書類等がございます。担当の窓口にて対応させていただきますので、ご遠慮なく病棟スタッフへお申し出ください。

○セカンドオピニオンにつきまして

患者さま・ご家族が、当院で十分納得して頂き、患者さまが主体的に治療を受けて頂く為に、第三者である他医療機関の医師の診療を受けることについてはそれに応じさせていただいております。同じく他医療機関を受診されている患者さま・ご家族についても対応させて頂いております。詳しくは地域医療連携センターまでお尋ね下さい。

○患者さまの権利宣言

すべての人は、人格を尊重され健康に生きる権利を有しています。患者さまにおかれましては、健康を回復し、維持増進するために、医療スタッフの助言協力を得て、患者さまの選択のもとに、最善の医療を受ける事は人として基本的権利です。

【平等で良質な医療を受ける権利】

患者さまは本人の経済的社会的地位、年齢、性別、疾患の種類などにかかわらず平等で良質な医療を受ける権利があります。

【選択の自由の権利】

患者さまは担当医師および医療機関を選択し、または変更する権利があります。またいかなる時でも他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

【知る権利】

患者さまは、自らの状況（病名、病状、検査結果）について納得するまで十分に説明を受ける権利があります。

【自己決定権】

患者さまは納得できるまで説明を受けたのち、医療スタッフの提案する医療行為を自分で選択する、同意して受ける、あるいは拒否する権利があります。

【個人情報の保護】

患者さまは、全ての個人情報、プライバシーが守られる権利があります。

氷山の一角（意見箱より）

（患者さま・ご家族様からのご意見・ご要望に関する回答）



ご意見 食事（汁物温度）について

チャンポンの汁がはぬるいです。アツアツの汁をかけて食べないと、おいしくありません。

➤大変貴重なご意見ありがとうございます。

現在、食器類につきましては配膳直前まで温蔵庫で温めております。

しかし、食数が多くそれぞれの食形態も異なる為、配膳に時間を要し冷えたものと思われます。申し訳ございませんでした。

今回いただいたご意見を真摯に受け止め、加熱時間や配膳時間を工夫しながら患者様方へ少しでも温かい食事を提供できますよう可能な限り努めて参ります。どうぞご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

ご意見箱は、外来と各階食堂談話室並びに腎センターへ設置してあります。患者さま・ご家族様より頂きましたご意見に対して、当院では毎月開催しております「サービス向上委員会」にて検討し、改善策を導き出して対応させていただいております。皆様からのご意見を今後ともよろしくお願い申し上げます。

❖編集後記❖

1月中旬は比較的暖かい日が続いていましたが、時期的には冬真っ只中、さすがに後半からは全国的にも寒い日が続いています。インフルエンザや感染性胃腸炎も増えてきています。手洗いやうがいの励行、十分な睡眠など、このような感染症にかかりにくい環境を心がけ、体調管理に努めましょう。

（編集委員 野添）

※本掲載分の個人名・団体名につきましては個人情報保護法に基づき、本人またはご家族の同意を得て掲載されております。



医療法人 玉昌会 加治木温泉病院

〒899-5241

始良市加治木町木田4714

TEL 0995-62-0001（代）

FAX 0995-62-3778

URL <http://www.gyokushoukai.com/>

診療科目

- 内科 ●消化器内科 ●腎臓内科(人工透析)
- 肝臓内科 ●循環器内科 ●神経内科 ●泌尿器科
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 ●リハビリテーション科
- 外科 ●消化器外科 ●皮膚科 ●歯科

